

「2022 治山・林道のつどい」

～治山・森林整備関連予算の確保に向けた決議採択～

11/16

速報版

令和4年11月16日（水）於 海運クラブ 2階ホール

1 開催主旨

頻発する山地災害や森林・林道被害を受け、地域の社会基盤である森林・山村を守るため、治山事業及び森林整備事業による「緑の国土強靱化」、林道等路網整備の強力な推進、「2050年カーボンニュートラル」を見据えた森林吸収源対策の着実な推進等に向けた林野公共事業予算の確保・拡充を実現するため、関係者一丸となった活動・要請を行う。

2 日 時 令和4年11月16日（水）13時30分～14時40分

3 場 所 海運クラブ 2階ホール

4 出席者 山口俊一会長はじめ、**国会議員 105名**（代理出席含む）

5 参加団体

- 全国治山林道協会会長会議（主催）
- （一社）全国森林土木建設業協会（共催） ○（一社）日本林業土木連合協会（共催）
- （一社）日本林業協会 ○全国森林組合連合会 ○（一社）日本林業経営者協会
- （一社）日本治山治水協会 ○日本林道協会 ○日本造林協会
- 全国水源林造林協議会連合会 ○全国国有林造林生産業連絡協議会
- 全国素材生産協同組合連合会 ○各都道府県森林整備・林道・治山関係者等
中央及びW E B参加を含めた各地方組織

約 400名

6 現 場 からの声 ○石川県森林土木協会 林 登良夫 会長
○（一社）秋田林業土木協会 堀川 隆志 会長
○（一社）高知県山林協会 池田 三男 会長（津野町長）

7 決 議 ○（一社）高知県山林協会
池田 三男 会長（津野町長、全国治山林道協会会長会議）

8 概 要:

山口会長の挨拶の後、野中農林水産副大臣の祝辞、中谷自民党林政対策委員長からの激励の言葉。嶋崎全森建会長、新谷林土連会長から、各地域における激甚な災害への対応や森林整備・治山対策による国土強靱化対策、2050年カーボンニュートラルも見据えた林業の成長産業化に向けた林野公共事業の必要性を訴える要望陳述があった。

続けて、現場の第一線で御尽力されている石川県森林土木協会 林会長、（一社）秋田林業土木協会 堀川会長、高知県山林協会 池田会長（津野市長）から、現場からの切実な声をいただいた。

池田会長から、全国治山林道協会会長会議としての決議文が読み上げられた後、採択され、盛会のうちに終了。

「治山・林道のつどい」の様子 / 現場の声等



○山口会長挨拶

➢災害が激甚化し、まだまだ対策すべき箇所がある中、国民の安全・安心を守り、あわせて山村振興、成長産業としての林業を育てるためには、予算確保が必要。力をあわせて一致団結し、森林整備事業、治山事業の予算を確保していきましょう。



○野中農林水産副大臣 激励の言葉

➢自然災害の激甚化・頻発化が加速するなか、森林整備・治山対策による「緑の国土強靱化」の推進が必要。また、災害に強い林道の開設や、森林吸収源対策の着実な実施などに向け、必要な予算の確保に全力で取り組んでまいりたい。



○嶋崎 全国森林土木建設業協会長

➢「緑の国土強靱化」のためには、災害に強い森林づくり等を強力的に進めていく必要。さらにコロナで疲弊した山村の活性化に向け、幹線林道となる路網整備がますます重要。地域の雇用の受け皿としての役割を担っていく決意。



○新谷 日本林業土木連合協会長

➢被災地の早期復旧はもちろん、災害の未然防止のため、国土強靱化対策や、主伐・間伐・再造林に必要な基幹林道の開設・改良に鋭意取り組んでいく。必要な予算の充実・確保に向け、関係者一同決意を新たにしたい。



○駆けつけていただいた 多くの国会議員の先生方



○現場から駆けつけた関係団体の方々

現場の声

◆ 石川県森林土木協会 林登良夫会長 【(一社)全国森林土木建設業協会】



○森林の公益的機能の発揮に向けた適切な森林整備のためには、災害に強い強靱な林道の整備が必要。近年、厳しい施工条件下にあるなかでも、地域の安全・安心の確保や、林道等の基盤整備の推進、地域の雇用の受け皿となるよう頑張ってもらいたい。そのためには、5か年加速化対策に基づく安定的かつ十分な林野公共予算の確保、厳しい施工条件下でも適正な利潤が確保できるような設計・積算等に向けた取組、そしてI-constructionの導入を促進していただきたい。

◆ (一社)秋田林業土木協会 堀川隆志会長 【(一社)日本林業土木連合協会】

○8月の記録的な大雨では、山地崩壊や林道崩落などの被害が発生する中、被害状況の把握や人員体制、ライフラインの確保などに日夜奔走した。近年、高齢化や若年層の不足により、労働環境は年々悪化しているところであり、若手従事者の育成・確保が重要な課題。このためには安定的に予算を確保いただき、中長期的に安定した利潤が得られる見通しが必要。所要の予算を確保いただくようお願いしたい。



◆ (一社)高知県山林協会 池田三男会長(津野町長) 【全国治山林道協会長会議】



○平成30年7月豪雨では、高知自動車道の橋梁が崩落する過去に例のない被害が生じた。森林資源が豊富にある高知県では、林道は地域生活に不可欠であり、木材生産のみならず、迂回路としても活用されるなど、様々な恩恵を地域に与えている。しかしながら、依然林道は不足しており、治山事業の予算とあわせて、林道予算についてもしっかり確保いただくよう、引き続きお願いしたい。

「2022治山・林道のつどい」

- 林野公共事業予算の拡充に関する決議
- ・全国治山林道協会会長会議
- ・（一社）全国森林土木建設業協会
- ・（一社）日本林業土木連合協会

決議文

森林整備・治山事業は、かつてより荒廃した森林の再生・保全等に取り組み安全で安心して暮らせる社会を支えてきましたが、我が国の国土は、地形が急峻かつ地質がぜい弱であることに加え、前線や台風に伴う豪雨や地震・火山活動等の自然現象が頻発し、毎年大きな山地災害や林道被害が発生しています。

本年も7、8月の豪雨や相次ぐ台風の襲来等で、全国各地で山地災害や林道被害が発生しています。毎年発生する豪雨災害、さらには南海トラフ地震等による津波の危険度も高く、大規模災害の発生リスクは依然として高い状態です。雨の降り方や大地震の発生など自然災害は既に今までとは違うステージになっています。

また、山村の地域経済は長期化する新型コロナウイルス感染症の影響などで疲弊してきています。

このような中で、国民生活や山村地域を脅かす危機的な状況から脱却するには、地域の社会経済基盤である森林をしっかりと整備し守っていくことが不可欠です。

このため、山地の復旧対策はもとより、事前防災・減災対策を進め災害に強い森林づくりによる「緑の国土強靱化」や国産材の安定かつ持続的な供給体制を早急に構築するため、災害に強い強靱な幹線林道の開設・改良をはじめとする路網の整備を通じた森林整備を強力に推進することなど、林野公共事業予算を大幅に増額するとともに地域の実情に対応した地方債を確保し、これまで以上の治山対策や森林整備対策の推進を強く切望するものであります。

全国治山林道協会会長会議、全国森林土木建設業協会、日本林業土木連合協会は次の項目について強く要請します。

1. 緑の国土強靱化への対応

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による必要・十分な予算を別枠で確実に確保すること。あわせて、補正予算等の緊急の財源措置により、山地災害や林道被害の早期復旧や山村経済を回復させる森林整備・治山対策に必要な措置を講ずること。

2. 治山事業及び林道等森林整備事業予算の拡充など

流域治水に対応した治山対策、山地災害からの復旧及び防災・減災対策の実施、並びに路網整備の充実特に幹線林道の強靱化等に向けて、林野公共事業を一層強力に推進するため、令和5年度当初予算において予算の拡充を図るとともに地域の実情に対応した地方債を確保すること。また、工事等の品質確保及び地域の安全・安心の担い手の確保を図るため施工条件に見合った円滑な発注や施工体制の整備を引き続き推進すること。

3. 災害に強い林道等の路網整備の強力な推進

森林資源の循環利用を通じた林業の成長産業化の実現や災害への対応に向け、木材生産コスト低減や木材の安定供給等に繋がる幹線林道等路網整備や林道の強靱化・長寿命化を図るため、令和5年度当初予算において一層強力に推進すること。

4. 森林吸収源対策の着実な推進

カーボンニュートラルを見据えたグリーン成長を実現し森林吸収源対策を着実に実施するため、令和5年度当初予算において間伐や確実な再造林などの実施に必要な森林整備事業をはじめとする予算を十分に確保すること。